

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(奇数月発行)

NAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.55
20160729

FREE
0円



CONTENTS :

第20回 機械要素技術展 長岡モノづくりゾーン出展報告
NAZE NEWS
豪技開発秘話② (株)サンシン
NAZE Style コラム

第20回 機械要素技術展 M-Techへ出展! 『長岡モノづくりゾーン』11年連続!

6月22日(水)~24日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第20回機械要素技術展M-Tech」に、今年も「長岡モノづくりゾーン」として出展しました。今年でなんと!?11年連続の出展となります!

「長岡モノづくりゾーン」は、NAZEと長岡ものづくりネットワークとが連携し、NAZE会員も含め、長岡市内のモノづくり企業(団体含む)8社で出展(NAZE会員:6社)。出展各社の製品・技術はもちろん、長岡市内のモノづくり企業の優れた製品・技術を全国へPRしてまいりました。

また、NAZEの会員で、テラノ精工(株)、ユニオンツール(株)が単独出展された他、(公財)にいがた産業創造機構のブースでエヌ・エス・エス(株)、JUKIグループのブースで(株)鈴民精密工業所も出展されました。



株式会社 アルモ



今年で11回目、11年連続での出展となります。昨年に引き続き、我が社のアルミ鋳造技術を活かした車両用部品・医療機器部品の展示のほか、弊社オリジナル商品である「アルミ鋳物製酒器」や「アルミかさプレート」などの展示・販売をしました。

オリジナル商品の「アルミ鋳物製ぐい呑み」は年々展示即売個数が増し、多くの方からご好評をいただきました。

M-Tech全体の来場者数は年々増加しているようで、我が「長岡ものづくりゾーン」は昨年より訪問者数が多かったように感じました。ブース全体のデザインなども好評でした。来年以降も継続出展を目指し、事前PR方法など、さらに改善し長岡をよりPRしたいと思います。

(代表取締役 柴木 樹)

株式会社 池田機工



今回の第20回機械要素技術展は、3年ぶりの出展となりました。2年のブランクでしたが、それでも交流のあるお客様や多くの方よりご来場いただき、あっという間の3日間でした。さて、久しぶりの展示会で感じたことは、なんとなく市場が落ち着いているという印象でした。また、その中で地域間の格差も感じましたように思います。もちろんどのエリアがどうだとか、安易に申し上げることはいたしません。3日間約100余りのやりとりで、明らかな傾向があったことは事実です。それとともに、ユーザー側もじっくりと構えてパートナー選びをしている様子でした。今回は、このような市場の風を感じる良い機会となったと思います。今は、自分たちのおかれている市況と重ね、「売る側」・「買う側」どちらの立場であったとしても、広くパートナーシップを結びチームで展開していく強さが必要だと感じております。最後に、出展の準備・ご協力いただいた皆さまへ、感謝申し上げます。

(専務取締役 池田 一雄)

株式会社 サンシン



今年度は、長岡の優れたモノづくり「NAZE 豪技2016」に認定された「ボールねじの溝軸とナット溝をテープ研磨で!!」をテーマに出展いたしました。本工法は開発段階では多々課題がありましたが、ようやく技術的にも確立し受注実績も複数台立ち上げることが出来ました。

従来とは違う研磨テープ工法に興味を持ち、立ち寄り頂いたお客様からは、今後に繋がる具体的な依頼はもちろんのこと、多くのご質問やご意見も頂きました。それによりお客様の動向を把握できましたので、今後の展開に活かしていく良い機会になったと思います。

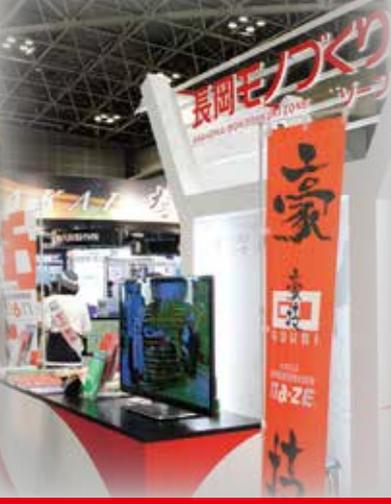
弊社の長岡モノづくりゾーンへの出展は今回で5回目となりましたが、豪技認定もあり今年度は例年より力をいれ、大型モニターを設営し会社紹介や弊社装置の動画を映しました。

その効果で遠目でも見て頂くお客様が増え、「長岡にあるサンシン」を印象付けられたと思います。今後も出展を続けることにより、長岡市のアピールにも微力ながら貢献していけたらと考えております。

NAZEスタッフ及び関係者の皆様には、多大なるご協力を頂き、無事出展出来たこと心より感謝しております。ありがとうございました!!

(試作管理部 安藤 真)





2016M-Tech見学バスツアー

6月22日(水) 朝7:30、バスはNICOテクノプラザを出発しました。参加者12名を乗せ、関越道から外環、首都高、レインボーブリッジを通り、東京ビッグサイトに到着。霧雨模様の会場4階が乗降場所でした。ほぼ定刻に到着し、参加者の皆さんと「長岡ものづくりゾーン」へ、その後は15:20の集合時間まで自由行動です。活気のある初日のM-Tech会場を巡り、集合場所の4階屋上で待つこと数分、若い二人が沢山の荷物を抱えてやってきました。バスは19:45にテクノプラザに到着、無事解散となりました。強行軍でしたが、参加者に爽やかなバスツアーであることを願いつつ、皆さま、大変ご苦労さまでした。



連続7回目の出展です。中越鋳物工業協同組合単独としては4年ぶりの参加となりました。

今回は協同組合が展示品を用意するのではなく、協同組合に参加している各組合員企業を前面に出すことで、多様化するお客様のニーズに対応できることを紹介する意味もあり、組合員企業から展示品をご提供いただきました。

結果、調理器具・食器(生活用品)、自動車部品・建築部品(機械部品)といった多種多様な展示品を取り揃えることができ、ブースに足を運んでいただいた方々に対して、協同組合の特色でもある「取扱製品の多種多様性」を積極的にアピールすることができました。

また、ご来場された方の中には、組合員企業紹介のご依頼や、製造に関してのお見積もりをお願いされるといった“後に繋がるお話”もありました。このような機会を設けていただきました全ての長岡ものづくり関係者に対し、改めて感謝と御礼を申し上げます。
(事務局 小山 和久)



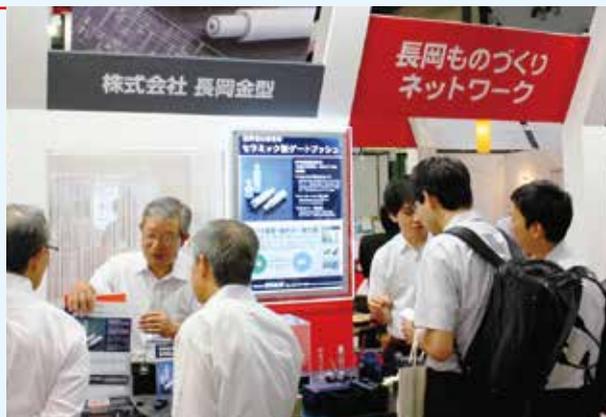
中越鋳物工業協同組合

新製品の「セラミック製ゲートブッシュ」PRの為に、今回初めてM-Techに出展しました。プラスチックの金型用部品の為、金型を知らないお客様に理解して頂けるか不安でしたが、同業の方だけでなく、様々な業種の方にも興味を持って頂けました。反応は様々でしたが、貴重な意見等も頂きましたので、今後の事業へ生かして行きたいと思えます。

また、同時に展示したプラスチック製品を見て、弊社の金型・成形技術にも関心を持たれたり、お褒めの言葉を頂いたり、会社全体の良いPRにもなりました。日頃お付き合いのあるお客様とはそれぞれ違った反応が有り、大変刺激になりました。

具体的な商談はまだありませんが、メール等で好意的な反応がいくつか有りました。弊社は単独での出展は難しいですが、来年以降も、この様な機会があれば継続していきたいと思えます。

出展に際し、ご尽力頂きましたNAZEとネオスのスタッフの皆様、心からお礼を申し上げます。
(金型事業部 高坂 壮)



株式会社 長岡金型

昨年に引き続き、長岡モノづくりゾーンから出展させていただきました。昨年は初めての参加ということもあり「とりあえず出してみよう」という感覚でしたが、今回はより戦略的に自社をPRしようという意思で参加いたしました。その甲斐あってか昨年よりも多くの方に立ち寄っていただけました。また、長岡造形大学の眞壁先生と共同開発した卓上CNC旋盤も出展しましたが、こちらにも多くの賞賛の声やアドバイスをいただき、多くの収穫を得ることができました。

一方で、訪問していただいた方から「展示内容から何が強みか伝わらない」など貴重なご意見もいただきましたので、今回の反省点を次回以降に活かしていきたいと考えております。

今回も大変充実した3日間となりました。ご尽力いただいたスタッフや関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(専務取締役 永井 宏明)



株式会社 プレテック・エヌ



現場改善による生産性向上と企業力強化をめざす 「長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクール」開校

ものづくりの現場において、改善活動を実践できる人材を養成する本事業は、本年度で4回目。13名の受講生が7月7日から10月20日までの計16日間、講義や実習により現場改善のノウハウを学びます。

本事業は、国の「カイゼン指導者育成事業」として、2年連続で採択されました。今年度は全国で12事業者が採択されましたが、全県的に活動する産業支援機関等がほとんどで、NPO法人としてはNAZEが唯一の事業者です。



足利市5S企業見学会を開催

7月11日、12日の2日間、5Sの街・足利市の足利印刷㈱と菊地歯車㈱の工場見学を参加者16名で開催しました。この2社は、きむら5S実践舎の指導により5S活動を行っており、同舎の木村代表と鈴木さんに、案内役をお願いしました。

初日の足利印刷㈱は工場内が「見える化」されており、各部署人員の仕事の負担が共有化されていました。2日目の菊地歯車㈱では、「5Sを推進し無駄を極限まで削減し、会社の利益を創造して社会貢献する」というスローガンのもと、製造現場の治具・測定具を使用勝手の工夫をし、製作していました。なお、交流会場の老舗料亭「相洲楼」においても、同舎の指導で5S活動を行った際の女将さんの体験談などをふまえ、自由な意見交換が行われました。

足利印刷㈱では、経営者が5S活動の目的を従業員に伝えたいと、評価は下さないとのことで、従業員の「自分たちで5Sをやる」という意識を培うとの話を聞き、他人事から自分事への意識改革が5S活動には必要と痛感した見学会となりました。



アンガーマネジメント セミナー

「リーダーが知っておきたい『アンガーマネジメント』」をテーマに、7月20日にNICOTECHプラザで、セミナーを開催しました。

講師は、国内でも数少ない、日本アンガーマネジメント協会公認アンガーマネジメントシニアファシリテーターの資格をお持ちの小松弘美先生、受講者は28名で、「職場環境の改善」や「業務パフォーマンスの向上」「部下との良好な関係を築く」ために、後悔しない感情の選択が自分で上手くできる方法について学びました。

「怒り」の体質や分析、イラッとしたときの対処術など、グループ演習や自己診断演習等も行いながら、アンガーマネジメントの理解を開始あるいは深めることができました。「怒り」は、無い人はいないし、悪い面だけがある訳ではなく、無くすことも不可能で、「怒り」と上手に付き合っていく技術は重要です。受講者は講師の話を中心に傾聴し、大変好評でした。



NAZE交流塾スタート!

7月15日、まちなかキャンパス長岡にて、NAZE交流塾が始まりました。

メイン講師は、昨年同様 サルベセン モーガン ロルフ氏。入塾式2日前に新婚旅行から帰国したばかりと、公私ともに昨年以上に充実されているようです。

さて、今年はフレッシュで積極的な3名を塾生に迎え、エネルギーな雰囲気でのスタートとなりました。モーガン講師の今年の目標は、Focus on communication and FUN!

今年の交流塾も楽しくなりそうです。



ボールねじのテープ研磨装置

vol.2/2

 **株式会社サンシン**

代表取締役 細貝信和

〈モノづくりの原点〉

モノづくりを生業にしている会社全てに言えることは、原点である設計部隊の考え方にあると考えます。弊社は、社内で全て装置設計を行います!! そのことにより装置のレベルが向上し顧客満足度が向上出来ることとなります。原点である設計を外注依存に頼るとその企業コンセプトの脆弱な会社となります。基本の設計が充分であれば長岡地区の強みである加工外注部隊を100%利用できますので地元貢献に寄与出来ていると思います。

〈少数精鋭主義の徹底〉

弊社は、製造業において少数精鋭でオリジナルの製品群を持ち、弊社サイドでの値決めができ、従業員全員の報酬が高い会社が世の中では一番と考えています。

これからの雇用獲得にもこのコンセプトに共感できる人材を弊社は追及していきます。

〈ボールネジ・ナットテープ、装置の開発〉

この度、NAZEより“豪技”認定して頂きましたが、本案件もテーマを決めて挑戦4年目になります。弊社は、大手商社中心にした営業を行っています。情報は大手商社より集め次なるテーマを探ります。その考えのもと現行の自動車及び次世代自動車にも応用ができることと、この工法が新規ベアリング業界に展開可能との判断からスタートしました。結果、ボールネジ・ナットとも面粗さ向上により静音・振動低減に大きく寄与出来ることが証明されました。

販売実績も順調で、以降ベアリング業界等々に横展開することで、売り上げに大きく寄与するものと確信しています。

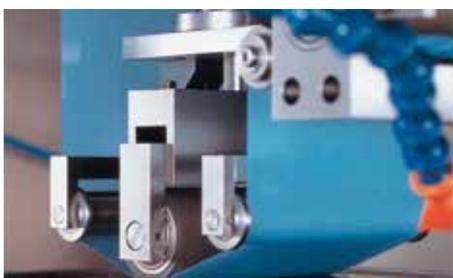


〈特許を武器に!!〉

県内中小企業の中で特許出願数では最上位にランクされています。

特許出願の目的は、防衛特許の考えが強いのですが、時として大手企業に対しては攻撃特許になります。大手企業は、仮に特許侵害での抗争になった時は、非常に弱い立場になります。

その様な点を考慮して新たな研磨テープ工法が完成した暁には、出願することを基本に考えています。





中越技術支援センターの支援メニューについて

新潟県工業技術工業研究所 中越技術支援センター センター長 佐藤 清治

今更ですが…、皆さんご存じのとおり中越地域は、精密工作機械や鋳物などの機械工業を中心とした幅広い裾野を持つ産業の集積地であり、日本でも屈指の“モノづくり産地”となっています。中越技術支援センターの業務内容も地域の産業構造の変遷に併せて変化し、設立当時の鋳物を主体とした研究支援から、現在では機械・電気・化学といった鋳物試験場時代の当時では考えられないほど広範な領域の技術をカバーしています。このような地域の企業ニーズからくる様々な技術相談・依頼試・機器貸付などの技術支援業務を、センター長と参事を含む9名の技術職員で行っています。自所の設備機器は下越技術支援センターには及びませんが、材料試験機・化学分析機・環境試験器など、この地域で通常必要とされる基本的な装置を備えていると考えています。また、対応できない試験については他の支援センターと有機的に連携し、ご利用いただく企業の皆さんにはできるだけご不便をおかけすることのないように努めています。

それでは、最近特に企業の皆さんから要望の多い支援メニューについて説明します。

今から15年以上前までの工技総研の支援体制はと申しますと、現在も実施していますが“依頼試験と指導相談”がその殆どを占めていました。研究活動については、支援センターが独自にテーマ設定をした1年単位の実用研究な

どであり、振り返ってみると企業とのミスマッチが多く、必ずしも満足いただける内容ではなかったかと反省しきりです。そこで、それ以降はこのミスマッチを少しでも解消するための手段として、一企業の要望に特化した研究を実施するように追加変更をしてきました。具体的には“年間を通して随時受け付けが可能なミニ共同研究（数千円～百万円/件）”であり、平成26年度の採用数は20件以上にも達し、契約金額は約150万円となりました。この数字は、当該事業が企業の皆さんから好評を得ている結果に他ならないと思っています。

また、研究事業ではありませんが、更に多くの利便性の向上を図るために機器貸付業務も実施しています。これは、主に計測・測定機器など高額な装置の導入が困難な企業向けに、初めての方には機器の講習に始まり、結果の説明も交えてリーズナブルな料金体制となっています。同様に、この利用件数は年間800件以上にも達しています。

いずれにしましても、中越技術支援センター(総研)は、皆さんからご利用いただいて初めて成り立つ機関であると認識しています。前述しましたように企業の皆さんからの利便性の向上を目指し、職員一同より一層の努力をしておりますので、今後とも当支援センターのご利用を宜しくお願いたします。



毛利レリーフ「長岡ホノルル終戦70年記念飾り額」をリニューアル

ハワイ真珠湾のアリゾナ記念館を見渡せる海辺に飾られている、太平洋戦争の終戦70年を記念して長岡市からホノルルへ送られた「記念額」を、(有)毛利製作所がリニューアルしました。

「豪技2012」認定の毛利レリーフ技術を用いて真鍮（母材）と銅鍍金により重厚感ある作りとなっています。「文字・絵・マーク」は深い浮き彫りになっており、塩風の腐食にも強く、描かれている「絵・マーク」は高精密で、特に立体感を出すのに苦労したとのことでした。



3D-CADで立体感を設計



リニューアルした記念額

NAZEは現在73会員！ 法人68・個人5

- | | | |
|------------------|--------------|------------------|
| (株)アサヒプレジジョン | (株)エム・エスオフィス | 久保誠電気興業(株) |
| 飛鳥運輸(株) | (有)エムケイ技研 | (有)倉品鐵工 |
| (株)アドテックエンジニアリング | (株)オオイ | クリーン・テクノロジー(株) |
| (株)アルモ | (株)大善 | クリエイトエンジニアリング(株) |
| (株)アンドウ | (株)大原鉄工所 | (株)小西鍍金 |
| (株)イトラスト | (株)大菱計器製作所 | (有)小林超硬研磨 |
| (株)池田機工 | 小川コンベヤ(株) | (株)サカタ製作所 |
| エヌ・エス・エス(株) | (株)山抜型製作所 | (株)佐藤板金 |
| (株)N D C | (株)カバサワ | (株)サンシン |

- | | |
|-------------|------------|
| (株)システムスクエア | テラノ精工(株) |
| (株)七里商店 | (株)トーエイ |
| (株)シナダ | ナウエス精工(株) |
| (有)シンエー木型工業 | (株)長岡金型 |
| (株)鈴民精密工業所 | 長岡技術科学大学 |
| (株)大光銀行 | 産学官・地域連携／ |
| (株)第四銀行 | 知的財産本部 |
| 第四電設(株) | 長岡工業高等専門学校 |
| (株)タカキ | 長岡信用金庫 |
| (株)タカハシ | (株)メッキ工業所 |
| 中越鋳物工業協同組合 | 地域協創センター |

- | | |
|------------------|----------------|
| 長岡大学 | (株)淵本銅機 |
| 地域連携研究センター | (株)ブラカード・ジャパン |
| 長岡電子(株) | 古川機工(株) |
| (株)永島工機 | (株)プレテック・エヌ |
| (株)中津山熱処理 | (株)北越銀行 |
| (株)ナノテム | (株)ホクギン経済研究所 |
| (株)難波製作所 | 北陽精工(株) |
| (株)ネオス | マコー(株) |
| (株)パートナーズプロジェクト | (株)丸栄機械製作所 |
| (株)林メッキ工業所 | (有)毛利製作所 |
| (株)BSNアインネット長岡支社 | ユニオンツール(株)長岡工場 |

- | |
|--------------|
| 吉井国際特許事務所 |
| 野中 敏 |
| 高田孝次 |
| 原 利昭 |
| 廣井 晃 |
| 柳 和久 |
| (H28.7.29現在) |

長岡で頑張る企業、起業家を応援します！



くわしくは → <http://www.naze.biz/>

●記事内容についての感想をお待ちしています！

Nagaoka Activation Zone of Energy
長岡産業活性化協会 NAZE

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
TEL : 0258-42-8700 FAX : 0258-42-8701 E-mail : info@naze.biz

印刷：(有)めぐみ工房

